

改修された中央公民館玄関

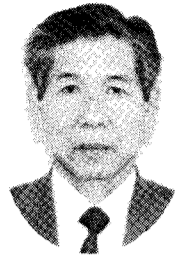
従来、公民館の入り口は体の不自由な方達にとって非常に利用しにくい構造でした。事実、館内にある図書室は、町民などでも利用できる施設でありながら、体の不自由な方達にとって不備の点が多くほとんど利用されていませんでした。そこで昨年末より改修工事に入り、今年一月玄関を自動ドアと車イス用スロープに改修しあわせて身障者トイレも新たに設置してどなたでも気軽に来ていただけるようにしました。皆さんのご利用をお願いいたします。

ずっと利用しやすく なりました。

「玄関自動ドアと車イス用スロープ」

浪花に旅して

小須戸小学校長 関根 勝哉



私はよく一人で旅に出ることがある。昨秋は奈良・神戸・姫路と関西の主要都市を訪ねてみた。そこで各地の学校の素顔と子供の学校生活をこの眼でみてまわった。奈良では駅前からタクシーをつかいて運転手の案内でまわったが、それぞれの学校の説明も大体的に射っていたようだ。市街地の中の学校が多かったが、校庭の舗装をとりはずし、堆肥を運び入れ、校庭を耕し、苗床から育てる花づくりが子供の手に進められていた。姫路では日本一の雄姿、姫路城に魅せられ時間の経つのを忘れた。大手門を後にすると続いて公園があった。そこには市民の菊花展が開催されていたが弥彦の比ではなく大型で盛会であった。官公庁から各学校、幼稚園までの職員作品もならべら

小須戸公民館報

町館信日 戸常15日 須公月 小中成毎 須成月 発行日 須成月 印刷所

ちよこつと一言 (11)

このごろの暖冬 今年の冬は、大変暖かい陽気です。大寒を過ぎても、雪が積もっていません。暖冬は、生活するには良いと思えますが、良いことばかりではないようです。もし、世界中でこのような陽気が三、四十年くらい続くと

うなるでしょう。北極やシベリア、南極の水や雪が解けて、水のかさが増え、海面が約十センチメートルも上がる。といわれています。つまり、小須戸町の低い所などは、水の底になるおそれがあるのです。ぼくは、暖冬が続いて水かさが増加するのは、よくないことだと思えます。

ヤンヤ、ヤンヤの大喝采

天ヶ沢民謡クラブ十二名

「蒲原の里」を慰問

十二月二十二日、天ヶ沢民謡クラブ(代表 横山三太郎)が、新津市古田にある老人ホーム「蒲原の里」を慰問し、総勢十二名が日頃の練習の成果を披露してきました。民謡や尺八が演奏を終えるとやんやの喝采、

この慰問は、かねてより慰問ボランティアの申し込みを「蒲原の里」に出していた天ヶ沢民謡クラブに、十二月の誕生会のアトラクションにと依頼があっ



「生まれて始めて尺八の音色を聞かせてもらった、ばかいい音の。」なんて声も聞こえてきました。天ヶ沢民謡クラブでは、今後も皆さんに楽しんでもらうおとを慰問を続けていく予定です。今日も練習に励んでいる民謡クラブの皆さん、頑張ってください。

今日の健康づくり目標

毎日の 暮らしはリズムを大切に

生きがい育てて ストレス解消

鎌倉 松尾 セツ

今年1年の無事故を願って 野球連盟無事故祈願祭

- 会 計 高橋 勲(大川前二)
監 査 渡辺安喜雄(蔵町二)
理 事 藤田仙典(本町二)
加藤昭松(矢代田八)
井上幸二郎(新保一)
森田 博(新町四)
今井吉郎(大川前三)
新井田信夫(矢代田一)
風間新作(矢代田九)
西村大助(鎌倉)
事務局長 古木肇作(花園町二)
(審判部)
部長 高橋 勲(大川前二)
副部長 井上幸二郎(新保一)
会 計 武沢昇平(矢代田十二)
監 査 吉田和幸(横川浜)
事務局 加藤昭松(矢代田八)
事務局補佐 小池 昇(新町四)
他部員十四名



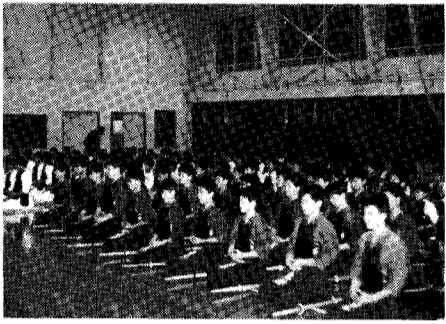
役場よりお知らせ

「お年寄りの介護者教室のご案内」 役場では、年二回、主に痴呆老人をお世話していらっしゃる家族の方を対象に、介護者教室を開催しています。今回は、寝たきりになった場合の床ずれの予防と手当ての方法や、福祉制度の紹介を行います。対象者には、個人通知をしますが、その他、現在痴呆老人や寝たきり老人を世話している方で、参加希望者は、前日までに役場保健婦にご連絡ください。

期日 二月二十二日(水)
午後一時三十分から三時三十分
会場 老人福祉センター

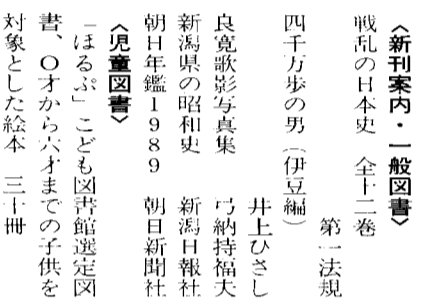
# 寒さに負けず がんばったぞ

毎年恒例の小須戸町柔剣道場  
興会主催の寒稽古が、一月三十  
日(月)から二十五日(日)ま  
での一週間にわたり、剣道は中  
学校体育館を会場として約百八  
十名、柔道は柔剣道場を会場と  
して約五十名の参加で盛大に開  
催されました。  
寒さの一番厳しい中で行なわ  
れる寒稽古では、柔道・剣道の  
技術はもちろんのこと、肉体的  
精神的な面での鍛錬も目的とし  
寒さに負けず、白い息を吐  
きながら、参加者は稽古に  
励んでいました。又、柔剣  
道とも若手の指導者が充実  
し、熱気あふれる指導を展  
開しておりました。  
四日には昇級審査が行な  
われ、全員が昇級を果たし  
翌五日には熱のこもった紅  
白試合が展開されました。  
剣道では勝抜き試合が行な  
われ、中には三人、五人抜  
きと大健闘する選手もあり、

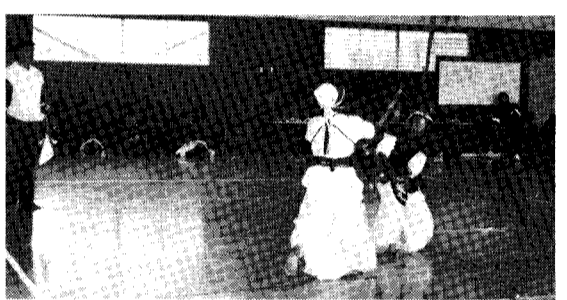
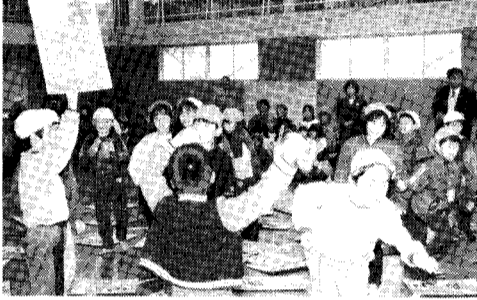


## 元気いっぱい、 新春カルタ取り大会

「あった。」「やった。」  
今日、二月一日は矢代田小学校  
のカルタ取り大会です。元気な  
声で体育館いっぱいひびいて  
カルタを捜す子供達も、応援す  
る子供達も一生懸命です。  
このカルタ取り大会は、児童  
会が主催するもので、雪のある  
年は雪中大会に変わる行事です。  
当日は、あいにく2年生が風  
邪のため参加できなく残念でし  
たが、1年生から6年生まで元  
気いっぱい体育館をカルタさが  
して走りまわっていました。  
カルタ取り大会は、各学年2



クラスを、紅組と白組に分け、  
1年生から3年生は普通のカ  
ルタ(とはいつても縦 10cm  
横 10cm)を一枚取ると二点  
もらえ、4年生から6年生  
までは、普通のカルタと字で  
書いたカルタがあり、取ると  
各一点づつもらえる。おてつ  
きは一回休みである。二人以  
上がつかんたらジャンケンで  
決めます。  
約一時間半後、カルタを全  
部取り終えた結果は、白組四  
十五点、紅組四十三点、わずか  
二点の差で白組が優勝した。



## 図書だより

☆皆勤者  
○柔道 十四名(50%)  
○剣道 九十四名(61%)  
☆皆勤者  
○柔道 十四名(50%)  
○剣道 九十四名(61%)

## 第三回 老連輪投げ大会 町部5チーム 初優勝

二月五日、小須戸小体育館に  
おいて第三回老連輪投げ大会が  
開催されました。  
当日は男性七十八名、女性九  
十一名計百六十九名の人達が集  
まり、輪を投げるたびのかけ声  
や笑い声が会場いっぱいひび  
いていました。  
結果は団体の部で、町部5チ  
ームが見事初優勝し、個人の部  
では、上田喜四郎さん(本町五)  
が優勝しました。

公民館図書室夜間開放  
どなたでもご利用できます。  
期日 毎週水曜日  
時間 午後七時～午後九時  
町民体育館一般開放  
ネット、卓球台等はお貸しし  
ますが、個人用具は持参下さい  
期日 毎週水曜日  
時間 午後七時三十分～午後  
九時三十分まで  
小須戸婦人会講演会  
期日 三月十二日(日) 午後一  
時三十分より  
会場 中央公民館三階ホール  
講演 「老後をむかえるに楽し  
い心の持ち方」  
講師 菊地藤吉先生  
(教育心理学博士)

公民館図書室夜間開放  
どなたでもご利用できます。  
期日 毎週水曜日  
時間 午後七時～午後九時  
町民体育館一般開放  
ネット、卓球台等はお貸しし  
ますが、個人用具は持参下さい  
期日 毎週水曜日  
時間 午後七時三十分～午後  
九時三十分まで  
小須戸婦人会講演会  
期日 三月十二日(日) 午後一  
時三十分より  
会場 中央公民館三階ホール  
講演 「老後をむかえるに楽し  
い心の持ち方」  
講師 菊地藤吉先生  
(教育心理学博士)

## ふんふんと散歩 (22)

これは記録だ!!  
元日マラソン十七年連続出場  
川瀬哲治さん  
十七年、長い年月だなぁと思  
う。元日マラソンが始まってか  
らの年数である。  
その十七年間、毎年欠かさず  
小須戸町の元日マラソンに出場  
している人がいる。川瀬哲治さ  
ん(文京町二、六十才)である。  
「十七年間元日マラソン走って  
もあんまり記憶に残ってのがね  
えんさね。ま、今年の雨にはま  
いりましたけど。」  
陸上を始めて五十年になる。  
「昔はこう見えてもレーの選  
手だったんですけど、今はとても  
マイペースのマラソン型ですね。」



三月より毎朝六時から一時間  
程度走る予定。一年に千km走る  
事が目標だとあつさり言われる。  
「走っている時沿道の皆さんの声  
援が何より力になる。」  
信念は「継続は力なり」  
「親からもらった二本の丈夫な  
足を有効に使わなきゃね。」  
今後ますます元日マラソン連続  
出場記録は延びそうである。

### 短歌

一月例会作品  
小須戸町俳句同好会

春支度旅の誘ひありてより 佐久間久子  
一月も廿日過ぎれば夫婦きり 齊藤可津明  
短日やなをもつづける立話し 五十嵐春月  
広重の短冊掛けてお元日 関根のり生  
老の脚揉んで労働の抽子湯かな 渡辺松山  
雪の夜の階下の時計十一時 吉田素糸  
寒梅の鉢抱え来て仕舞風呂 吉田ミナ  
蕪村忌の落日見たり日本海 内山越楼  
髪撫でて話す癖あり花ハツ手 小林富沙子  
年頭の所感無心と書き記す 中野太浪  
一月の波が忘れし貝の殻 間島秀徳  
弥彦嶺の壁を濃くして冬の風 田中美根子  
週休が二日となりし葱を振る 間野良遊  
一月や人事異動の囁かる 名古屋蒼穹  
日向はこしてお互ひに耳遠き 丸山虚秋

精神性不毛の時代の背景を説くニイチエの孤  
独の心 我妻清作  
日脚し伸び老父の寝ねし枕辺に温き色寄す  
冬の天つ日 伊藤照漢  
晴れながら濡たちこむる寒の日に裾引く如く  
近き山見ゆ 加藤 茂

### 短歌クラブ作品

白鳥に餌付の刻まで暫しありカッパ酒飲みつ  
うみの端に待つ 佐藤新治郎  
折にふれいと世詠まれし天皇のお歌持しつ照  
和史徳ぶ 牧野信雄  
暖冬の陽に誘われて庭の草抜きつ風の冷た  
さ思ふ 鈴木ハナ  
戸を繰るはわが目課にて清々し街を始発のバ  
ス通りゆく 佐久間ヒサ

### 小須戸川柳会

題「平」

平家琵琶文化財にて生き続け 加藤米二  
加算して平均となる間も出し 長井武雄  
平凡な裏から覗く天の邪鬼 我妻清作  
三世先祖のジョークで家平和 栗原ひさし  
心平ら体丈夫の妻であり 成田常信  
催促も平謝りに情が負け 高橋ただし  
欲の皮平気で突つ張る政界人 吉田源吾  
誕生日拍手で平和なケーキの灯 松沢キヨ  
平手打ち頬の痛みに父の愛 藤井春江  
裏山が平らになつて団地出来 玉村タネ  
序列まだ前れぬ我が家にある平和 小見キン  
息をのむ平均台のコスチューム 安達キヨノ  
平行線流せぬ過去に引きずられ 駒村幸世  
平静を装いあなたの嘘を聞く 渡辺信子  
波風をたてず平らに嫁姑 保科志枝  
父ちゃんの音痴に母ちゃん和す平和 吉田みな